

「ミック健康の森」は、機能訓練に特化したリハビリ型デイサービスだ。同施設を手掛けるミック・ジャパンはドラッグストア運営をメイン事業とし、生活用品や健康食品、サプリ等販売してきたが、運動面からも高齢者の健康をサポートするため、2014年にデイサービス事業を開始した。現在は全国に直営40施設を展開しており、昨年7月からはFC募集もはじめた。

ミック健康の森

ミック・ジャパン：大阪市旭区

3時間で完結するリハビリ型デイサービス 直営40施設のノウハウをもとにFC開始

利用者は元気な高齢者



平形 遼馬氏 (36)

ミック健康の森は、送迎を含めて3時間で完結する運動特化型のデイサービスだ。同施設ではストレッチやマシントレーニング、マッサーなど機能回復のサポートに加え、利用者同士のコミュニケーションの場を提供している。

手厚いサービスを提供するため、10名か18名定員（介護保険法の規約）の少人数制を採用しており、個別機能訓練では歩行訓練や段差昇降訓練など、それぞれの悩みにフォーカスしたトレーニングを施している。利用者は70代後半から80代前半が7割で、要支援1・2、要介護1・2の元気な高齢者が9割を占めている。介護保険の適用者が大半で、月額費用は平均3000円だ（介護レベルなどで前後する）。

同社は2014年、大阪市に1号店を出店。その後、関西・関東・九州・東北と拡大を続け、現在は40施設を展開している。

設を再開している。直営で感染症対策を徹底した後、多くの高齢者を健康にするため、昨年7月にFC募集を開始した。

同施設では送迎を行うため、車が止められるテナントが条件で、1階での開業を推奨している。初期投資は加盟金が200万円、研修費が50万円、開業支援費が50万円、内装設備費が800万円、6種類のリハビリ機器が100万円、広告宣伝費が50万円、多く見積もった合計が1250万円だ。

広さ45坪、定員18名で開業した場合の収益モデルは、売上高が約35



▲少人数制のため45坪から開業可能

0万円（利用者120名）。これに対し、販管費として人件費が120万円（5名想定）、地代家賃が30万円、そのほか保険・衛生費、消耗品費などで55万円。営業利益は約145万円、ロイヤリティは売上の6%＋5万円となる。

採用や営業なども支援

デイサービス運営では、介護保険法により管理者・生活相談員・機能訓練指導員・介護職員の配置が必須だ。生活相談員と機能訓練指導員は、介護福祉士や柔道整復師などの有資格者を雇用する。ただし、一部兼任も可能で同施設では基本4名以上で運営している。こうした人材募集や採用は、本部もアシストする。そのほかのサポートとして、物件探しや開設支援、書類作成や定期的な経営指導などが受けられる。

顧客獲得はケアマネージャーからの紹介がメインとなるため、開業時は居宅介護支援事業所に営業を行う。その際、希望すれば本部スタッフも同行する。10名ないし18名の定員に達すれば集客が不要となるため、広告費と手間が削減される。入所半年を経過すれば、70～75%の利用者が定着するという。

同社は、年内FC10店舗の出店を目標に据えている。